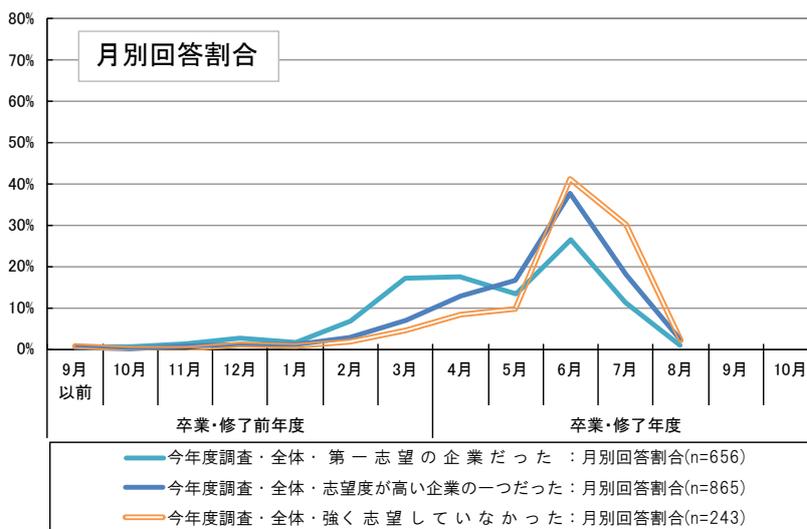


⑤就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期

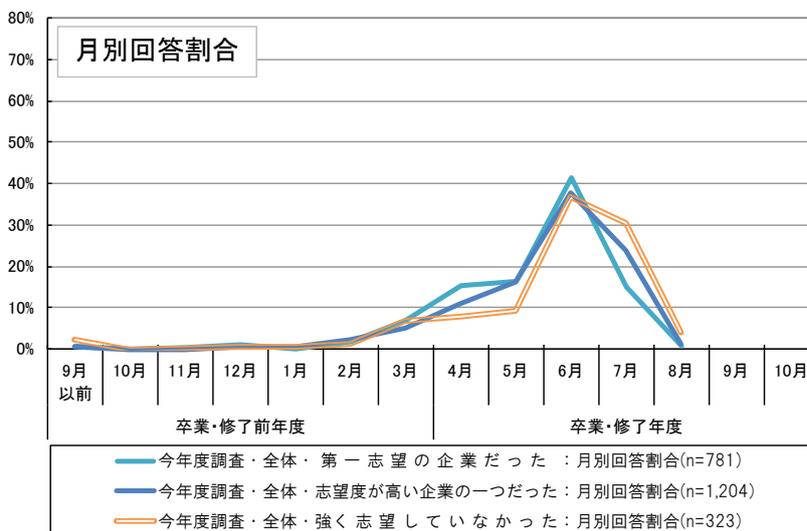
就職予定の企業からの内々定の時期⁴¹について、その企業に対する志望度別に集計⁴²すると、いずれの場合も、就職予定の企業の内々定の時期は「2020年6月」の回答割合が最も高くなっている。

なお、1社から内々定を受けた者で、その企業が第一志望であった場合は、2020年3月～4月の時期の回答割合も比較的高くなっている。

図表 3-6-8 就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)
<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>



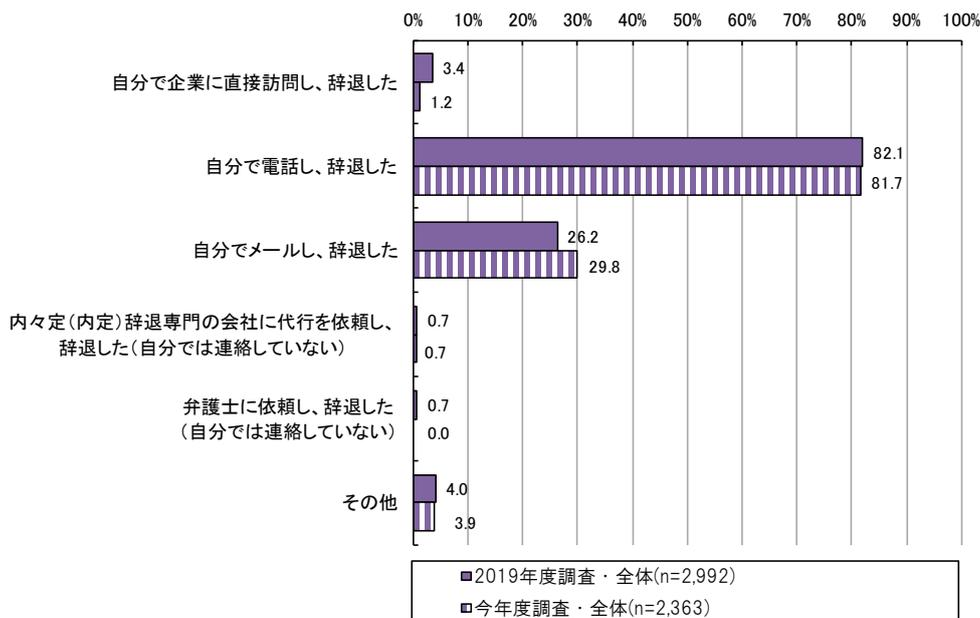
⁴¹ 1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⁴² 就職予定の企業の採用選考に応募した時点で志望していた企業の全てを思い返したうえでの志望度について尋ねた回答の結果を基に分類をした。なお、志望度について「覚えていない」と回答した者は集計の対象外とした。また、分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

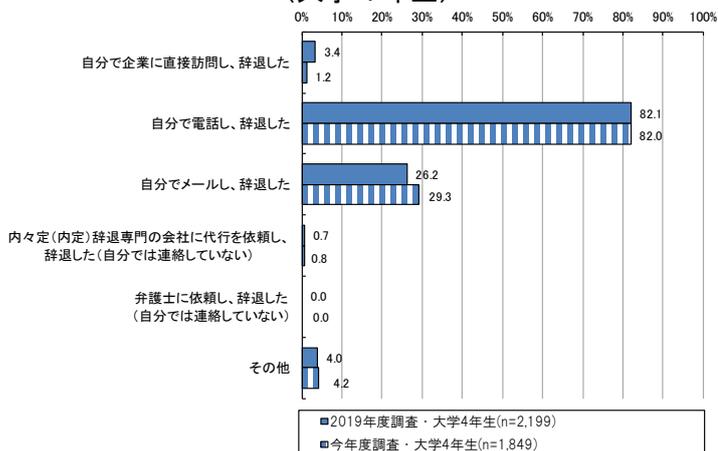
⑥内々定の辞退の方法

複数社から内々定を受けた者など⁴³の、内々定の辞退の方法について、「自分で電話し、辞退した」が約8割、「自分でメールし、辞退した」が約3割となっている。なお、「自分で企業に直接訪問し、辞退した」は1.2%、「内々定(内定)辞退専門の会社に代行を依頼し、辞退した(自分では連絡していない)」は0.7%、「弁護士に依頼し、辞退した(自分では連絡していない)」は0.7%であった。

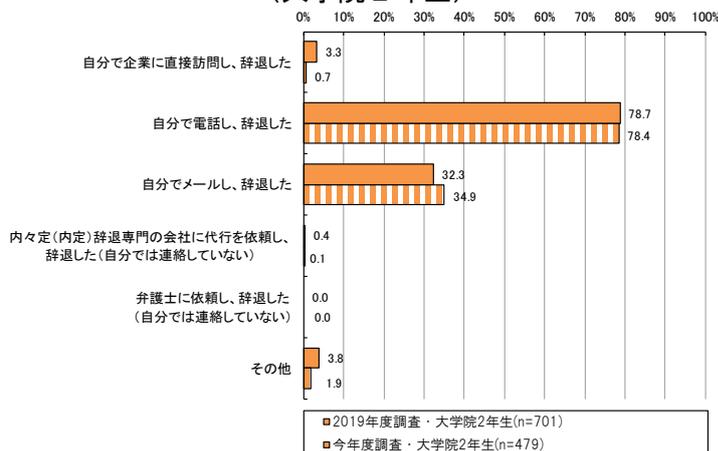
図表 3-6-9 内々定の辞退の方法(複数回答)
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁴³ 1社から内々定を受けた者でその企業に就職予定ではないと回答した者と、複数社から内々定を受けた者に関して、内々定を辞退したことがあるか否かを尋ねた上で、辞退をしたことがあると回答した場合にその方法について調査をした。なお、2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。

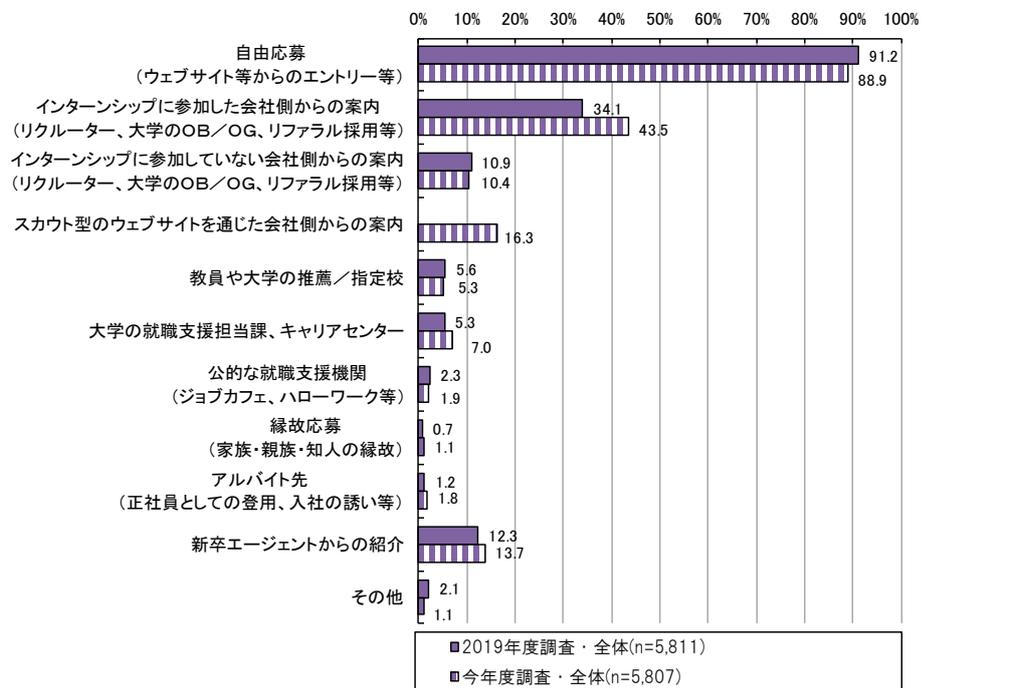
(7) 採用試験・面接等を受けた経路

①全体の状況

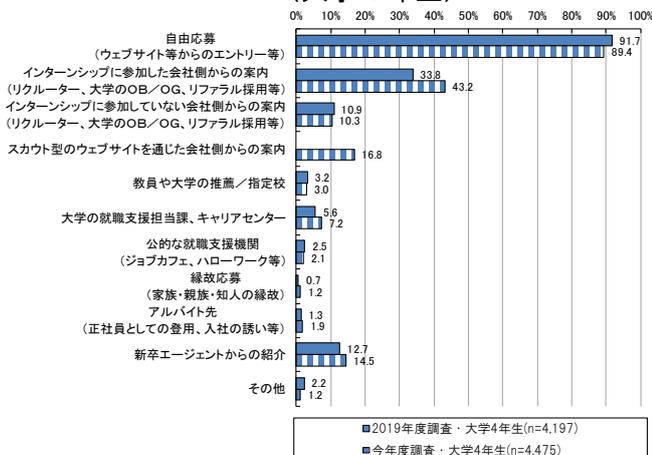
どのような経路で採用試験・面接等を受けたか⁴⁴について、「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が9割以上で、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が約4割、「スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内」が約2割、「新卒エージェントからの紹介」と「インターンシップに参加していない会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」がそれぞれ約1割となっている。

2019年度調査と比較すると、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」の回答割合が高くなっている。

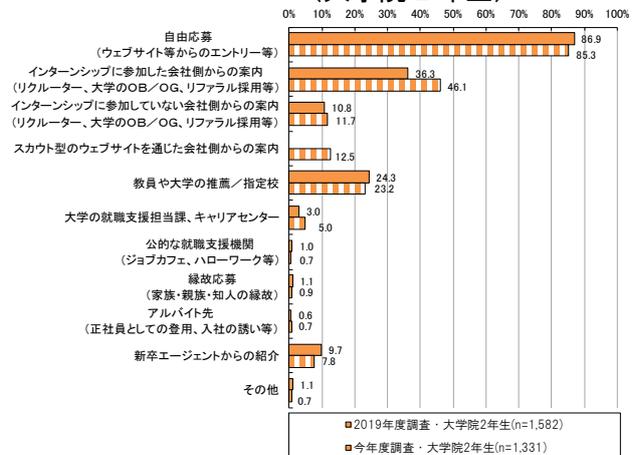
図表 3-7-1 採用試験・面接等を受けた経路（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁴⁴ 同内容の調査項目は2016年度調査～2018年度調査でも設定しているが、選択肢として設定している項目が異なっていることから、ここでは直接的には比較の対象としなかった。なお、2019年度調査では「リクルーター」「リファラル採用」「新卒エージェント」、さらに今年度調査では新しく設定した「スカウト型のウェブサイト」の項目に、それぞれ用語説明を付した。

②内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

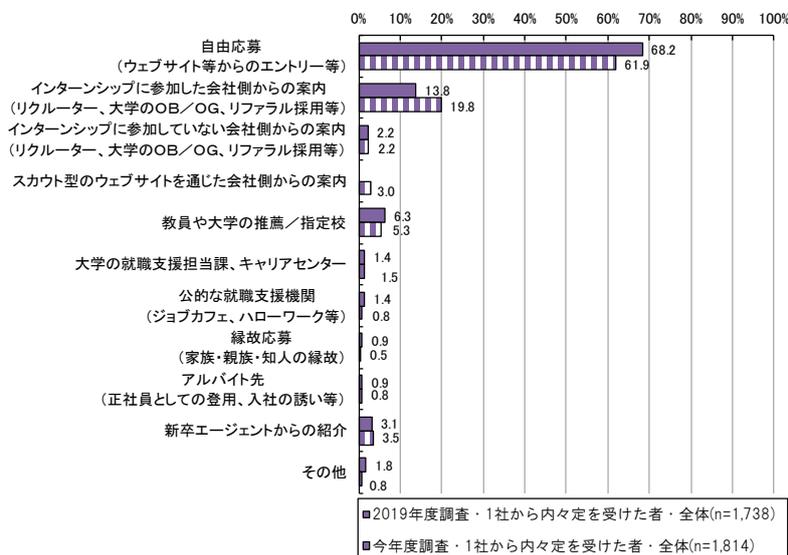
内々定を受けた企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたか⁴⁵について、1社から内々定を受けた者では、「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が約6割、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が約2割となっている。また、複数社から内々定を受けた者では、「最初の内々定」について「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」の割合が約3割と若干高くなっている。

2019年度調査と比較すると、内々定を受けた数が1社・複数社いずれの場合も、「自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）」の回答割合が低くなり、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が高くなっている。

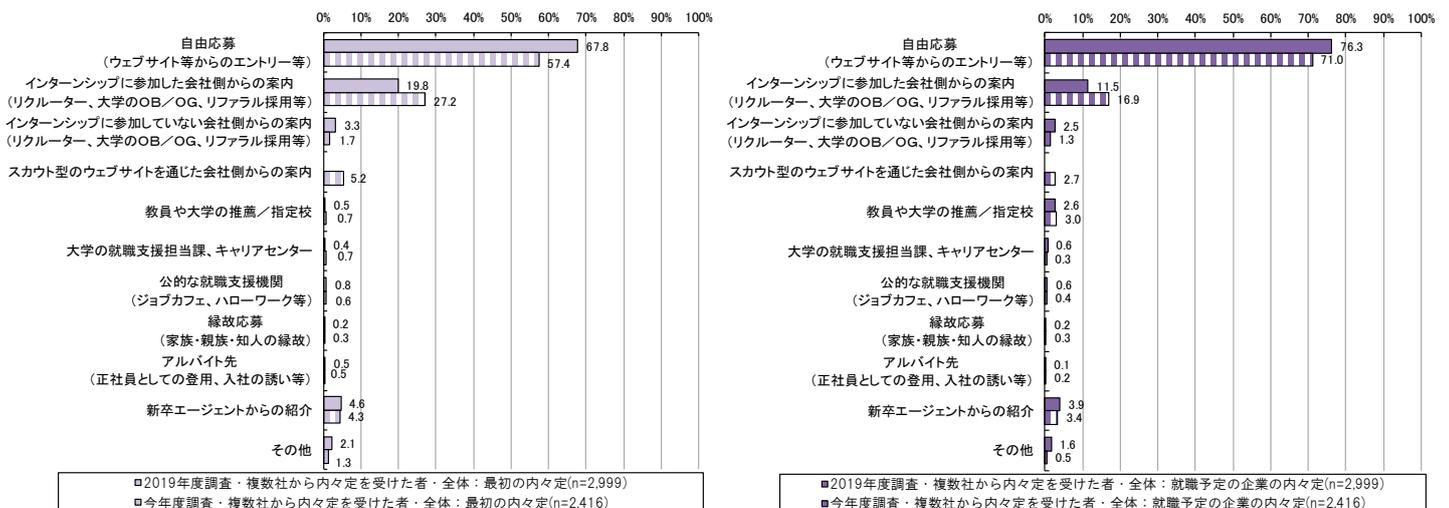
図表 3-7-2 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

（大学4年生・大学院2年生）

<1社から内々定を受けた者>



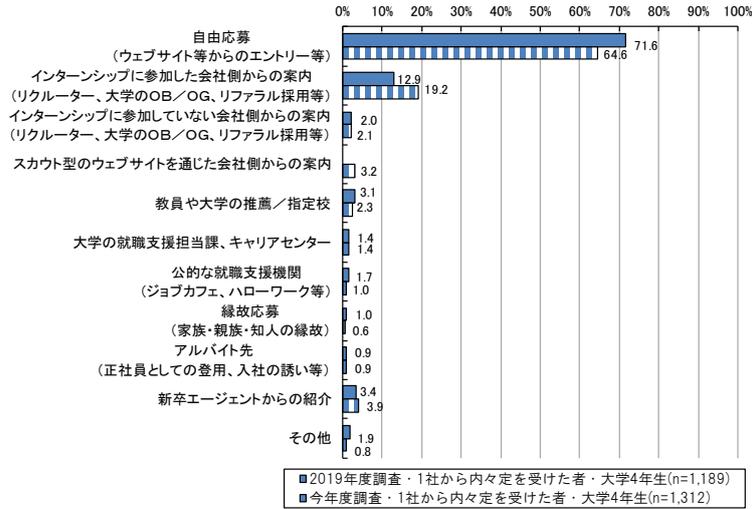
<複数社から内々定を受けた者>



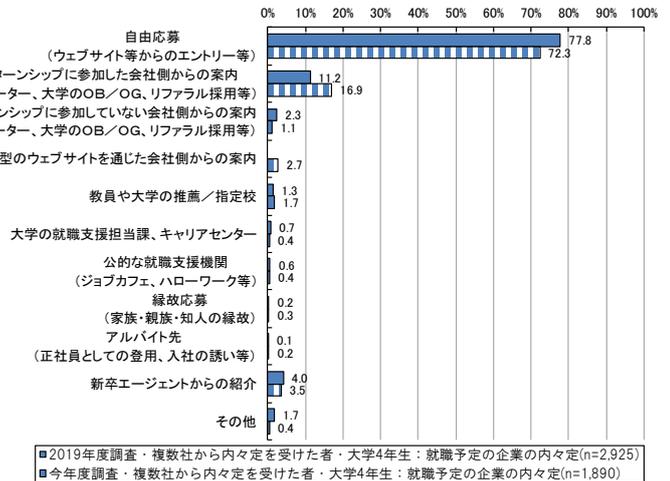
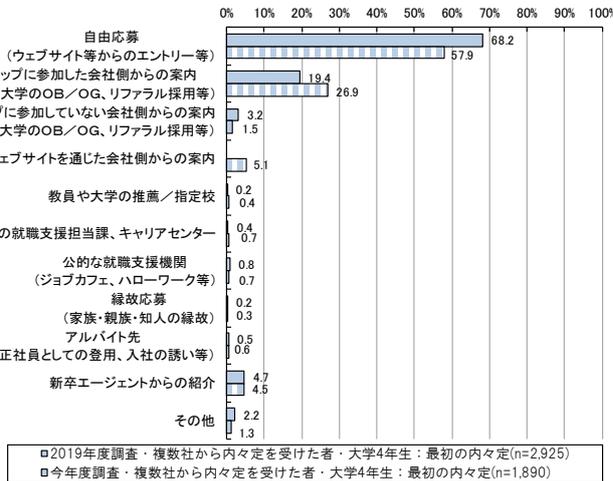
45 1社から内々定を受けた者は就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた企業と就職予定の企業のそれぞれについて調査し、集計をした。なお、ここでの設問は、複数回答形式ではなく、選択肢よりひとつのみ回答する方法によるものである。

図表 3-7-3 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路（大学4年生）

<1社から内々定を受けた者>

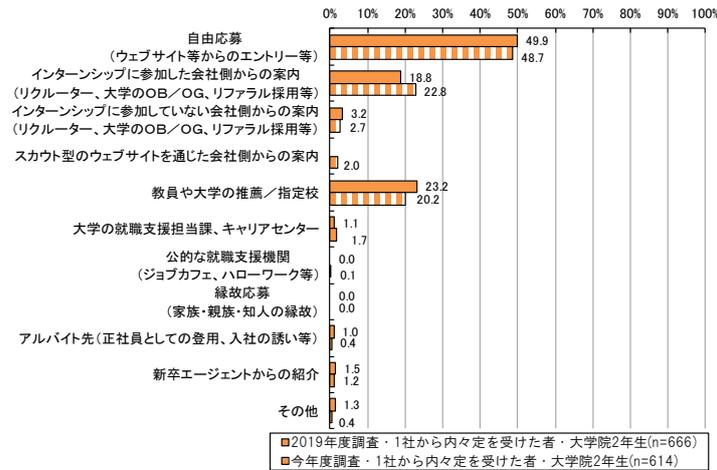


<複数社から内々定を受けた者>

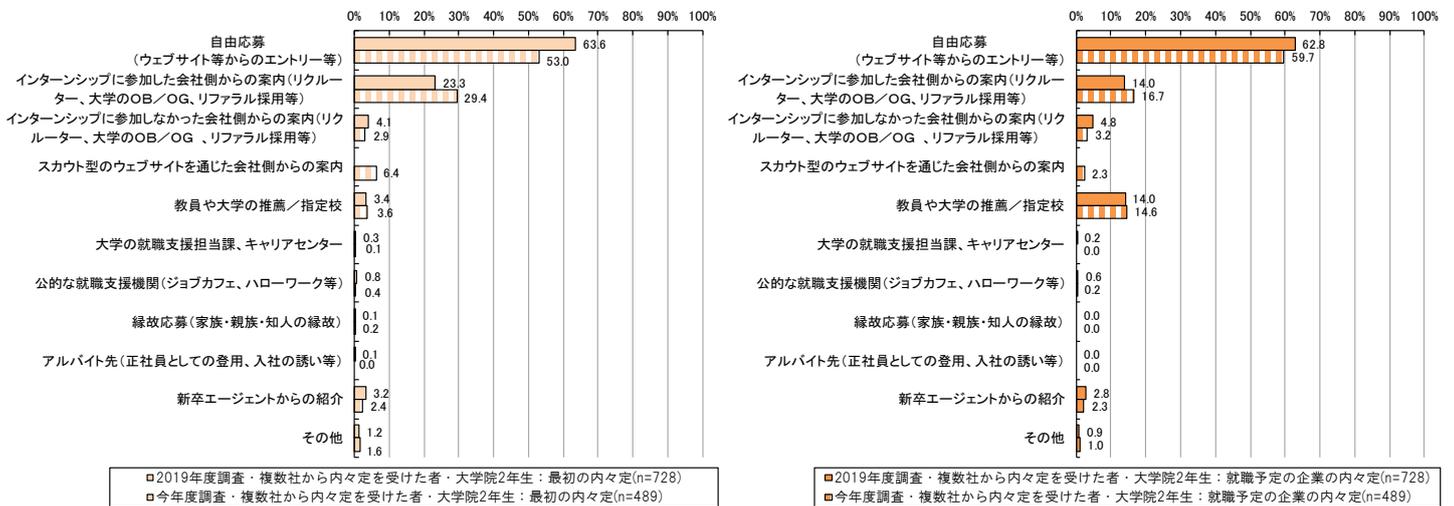


図表 3-7-4 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路（大学院2年生）

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>



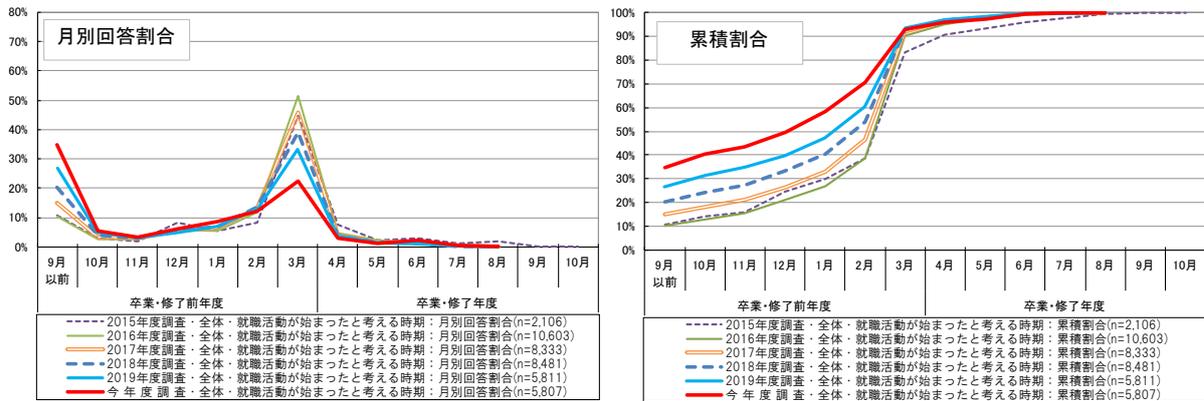
(8) 就職活動の始まりと終わりの認識

①就職活動の始まりの時期についての認識

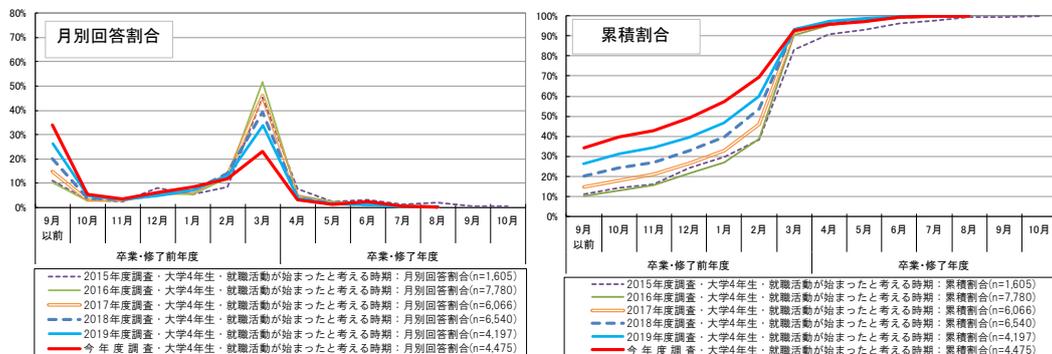
回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、「2020年3月」が約2割と最も高く、次いで「2019年6月以前」の回答割合が高くなっている。

今年度調査では卒業・修了前年度3月の回答割合が比較的高い傾向は続いているが、卒業・修了前年度9月以前の回答割合を下回っているなど、過年度調査と比較するとより早期の時期を回答した者の割合が高くなっている。

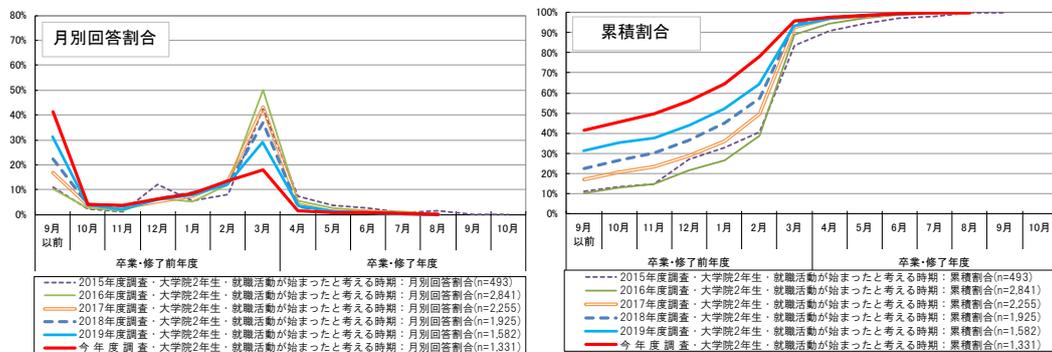
図表 3-8-1 就職活動が始まったと考える時期
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



図表 3-8-2 就職活動が始まったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	17.5%	6.7%	7.3%	3.4%	5.4%	3.4%	6.1%	8.5%	12.1%	22.5%	3.0%	1.3%	2.3%	0.4%	0.2%
累積割合	17.5%	24.2%	31.5%	34.9%	40.2%	43.6%	49.8%	58.3%	70.4%	92.9%	95.9%	97.2%	99.4%	99.8%	100.0%

（大学4年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	16.4%	6.7%	7.6%	3.3%	5.5%	3.4%	6.1%	8.5%	11.9%	23.1%	3.2%	1.3%	2.4%	0.4%	0.2%
累積割合	16.4%	23.1%	30.7%	34.0%	39.5%	42.9%	49.0%	57.5%	69.4%	92.5%	95.7%	97.0%	99.4%	99.8%	100.0%

（大学院2年生）

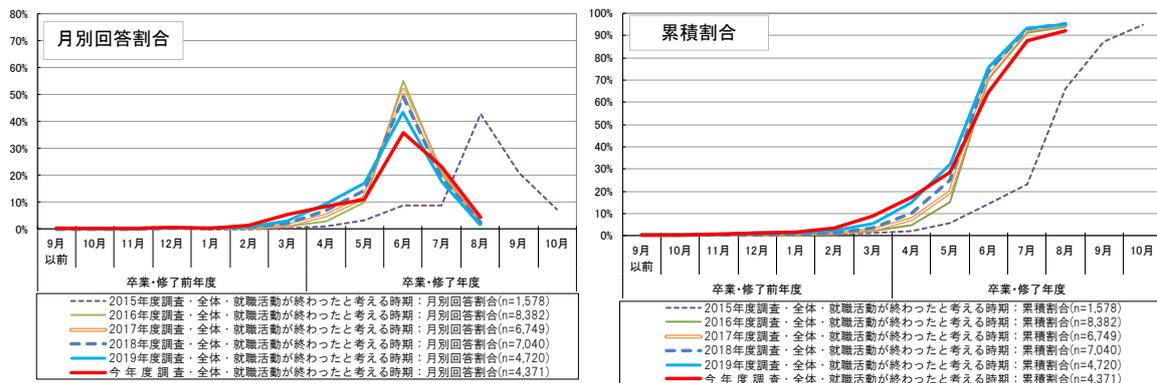
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	26.2%	6.4%	5.1%	3.6%	4.3%	3.8%	6.4%	8.6%	13.5%	18.0%	1.6%	0.9%	0.9%	0.4%	0.3%
累積割合	26.2%	32.7%	37.8%	41.4%	45.7%	49.5%	55.8%	64.5%	78.0%	96.0%	97.6%	98.5%	99.4%	99.7%	100.0%

②就職活動の終わりの時期についての認識

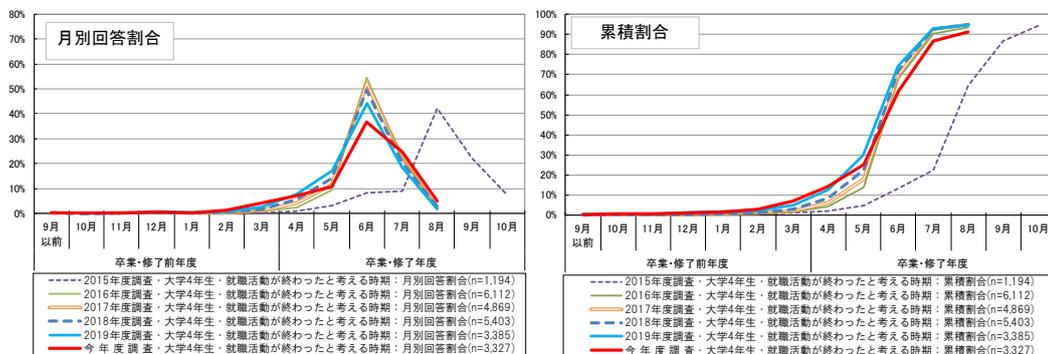
内々定を1社以上受けたと回答した者⁴⁶にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、「2020年6月」の回答割合が約4割となっている。なお、累積割合⁴⁷では、2020年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは約3割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では卒業・修了年度4月～6月の回答割合は過年度と同程度もしくはそれ以下となっている。また7月などのより遅い時期の回答割合が若干高くなっているとと、「まだ終わっていない」と考える割合も若干高くなっている。

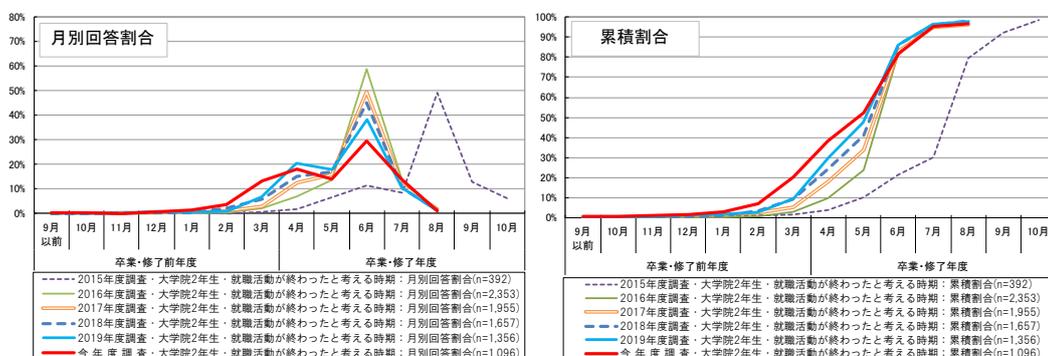
図表 3-8-3 就職活動が終わったと考える時期
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



46 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

47 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

図表 3-8-4 就職活動が終わったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.6%	0.5%	1.6%	5.4%	8.4%	11.2%	35.9%	23.4%	4.3%	7.9%
累積割合	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.6%	1.2%	1.7%	3.3%	8.7%	17.1%	28.3%	64.2%	87.6%	92.0%	—

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%	0.4%	1.3%	4.3%	7.0%	10.8%	36.8%	24.8%	4.8%	8.6%
累積割合	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.5%	0.7%	1.2%	1.6%	2.9%	7.2%	14.2%	25.0%	61.8%	86.6%	91.4%	—

（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

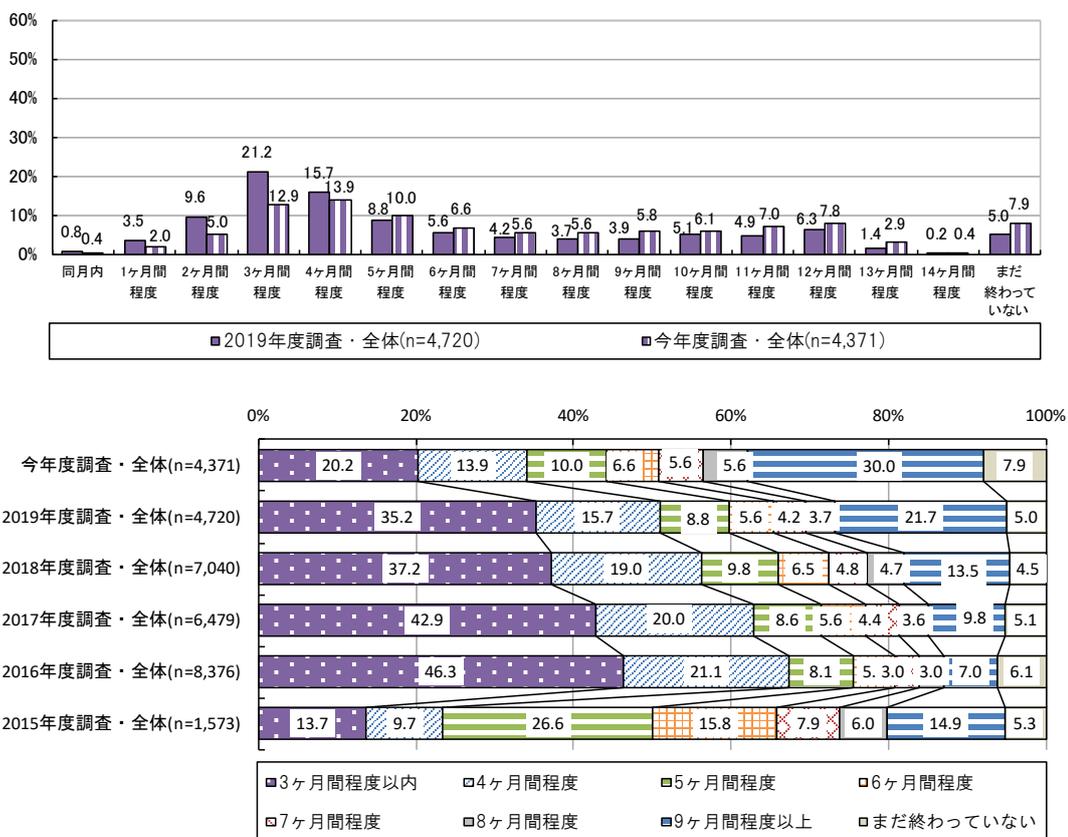
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.1%	0.7%	1.4%	3.8%	13.1%	18.3%	14.0%	29.5%	13.6%	1.2%	3.5%
累積割合	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	1.0%	1.7%	3.1%	6.9%	20.0%	38.2%	52.2%	81.7%	95.3%	96.5%	—

③就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると⁴⁸、「4ヶ月間程度⁴⁹」の回答割合が最も高く、「同月内」から「4ヶ月間程度」までの回答を合わせると約3割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、「3ヶ月間程度以内」の割合が低くなっており、「9ヶ月間程度以上」「まだ終わっていない」の割合が高くなっている。その結果として、採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査と比べても、就職活動をより長い期間行っていた者の割合が高い傾向がみられる⁵⁰。

図表 3-8-5 就職活動の始まりから終わりまでの期間
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

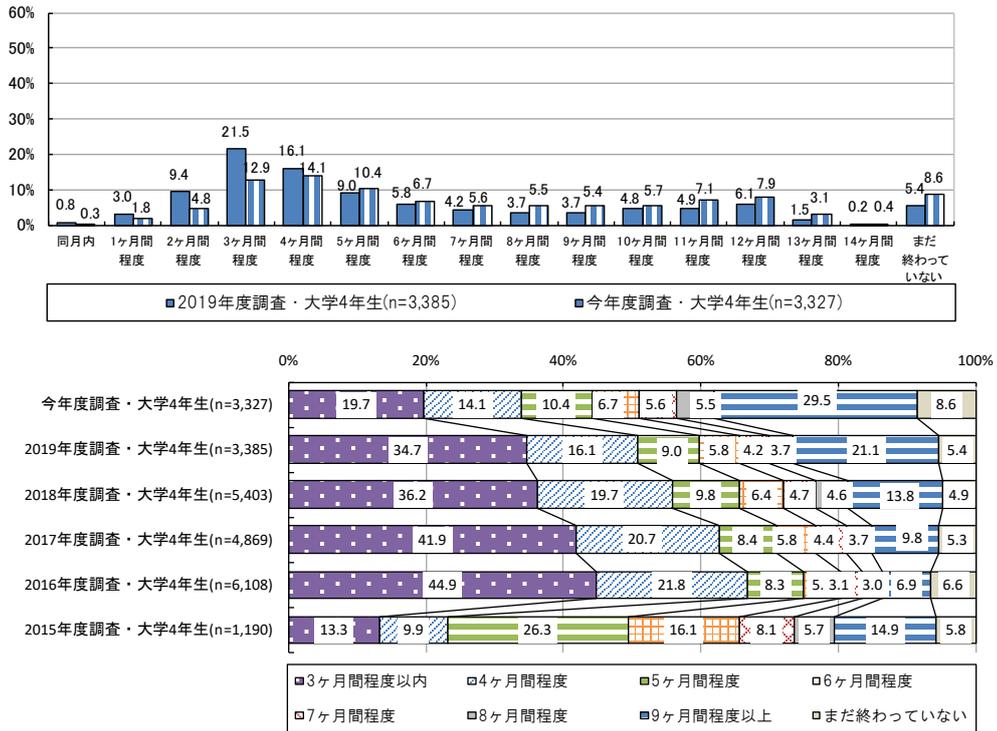


⁴⁸ 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

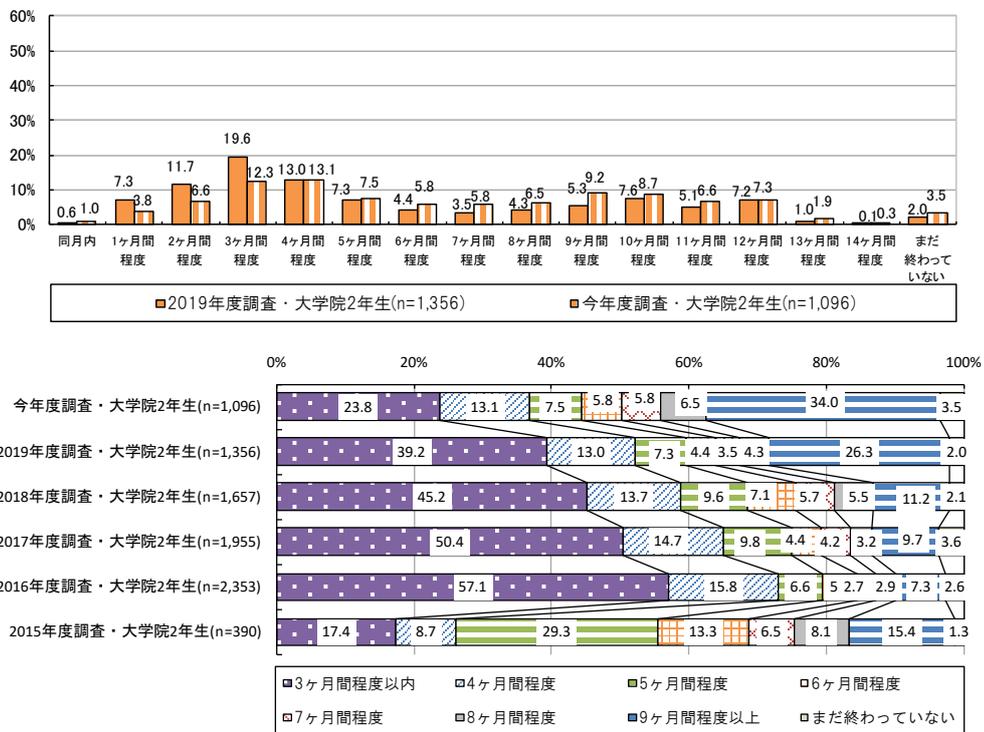
⁴⁹ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

⁵⁰ 「始まったと考える時期」「終わったと考える時期」ともに、過年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019年度調査からは「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。このことから、過年度調査では最大の期間は「11ヶ月間程度」であるが、今年度調査では「14ヶ月間程度」となっている。ただし、過年度調査との比較を行う上では、分類がそろるように再集計をしている。

図表 3-8-6 就職活動の始まりから終わりまでの期間
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



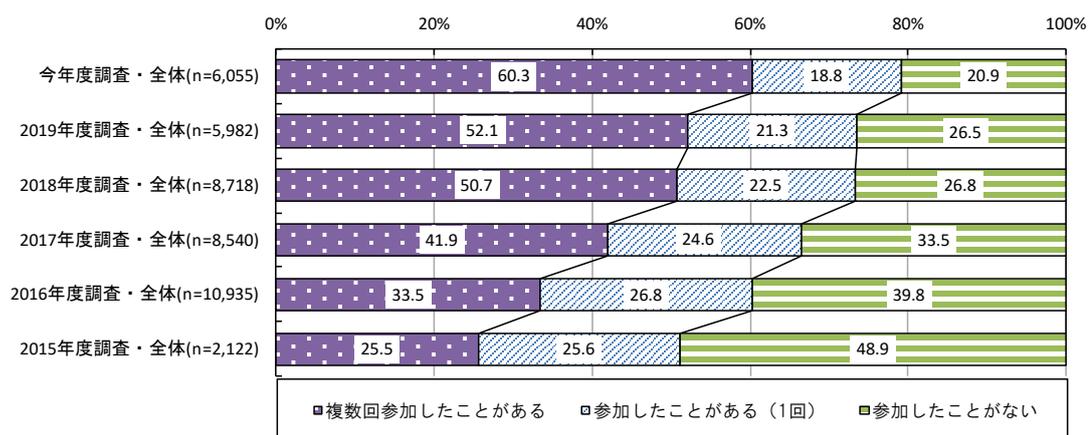
(9) インターンシップの参加状況

①参加の有無

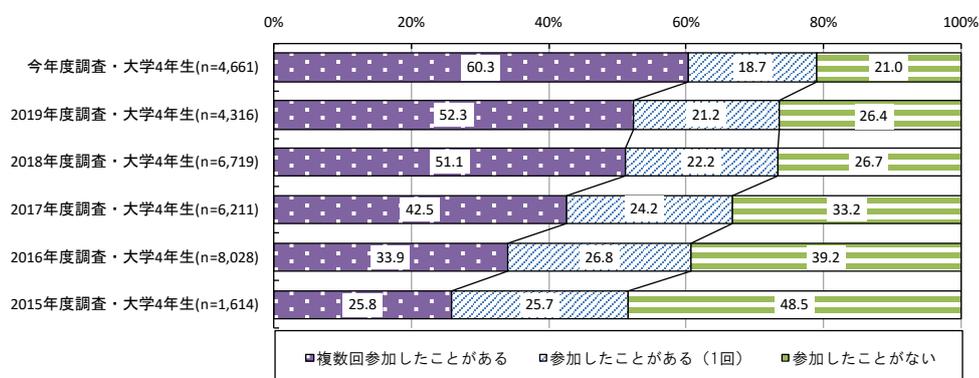
インターンシップ参加経験について、約8割が「参加したことがある」と回答している。なお、約6割が「複数回参加したことがある」と回答している。

過年度調査と比較すると⁵¹、今年度調査は「複数回参加したことがある」と回答した割合が高くなっている。

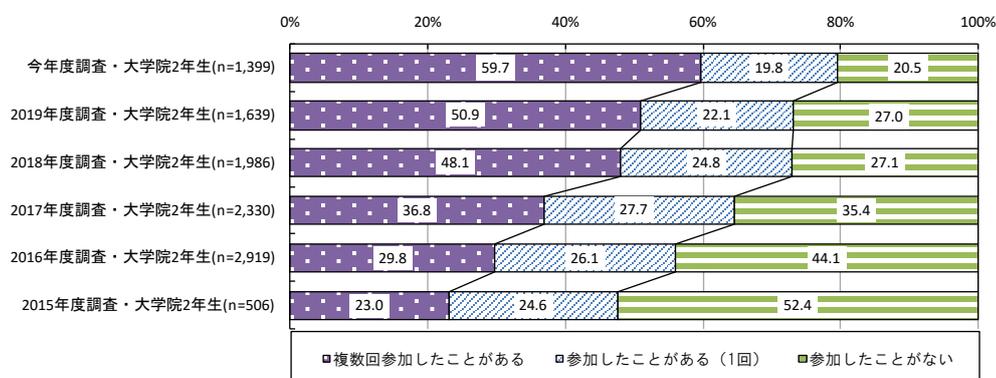
図表 3-9-1 インターンシップ参加経験の有無
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



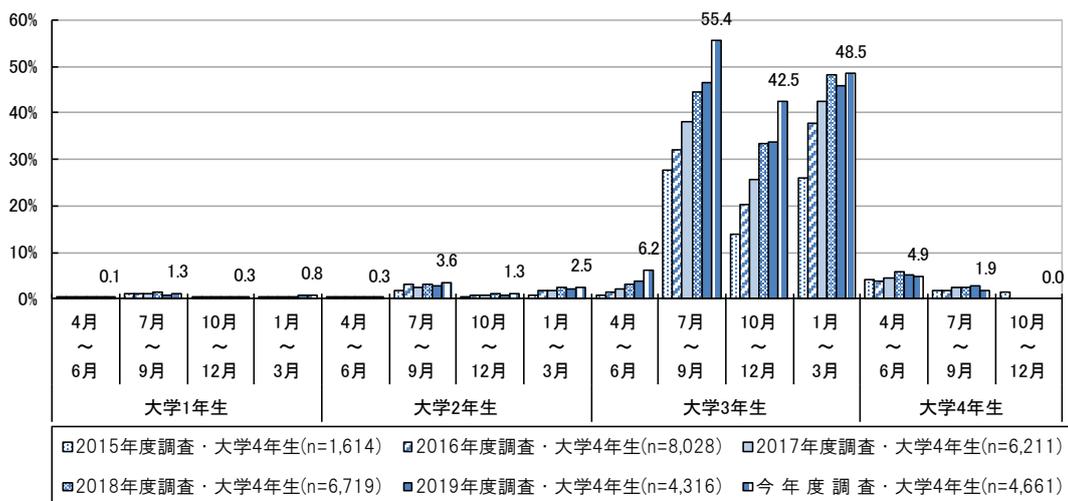
⁵¹ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

②参加時期

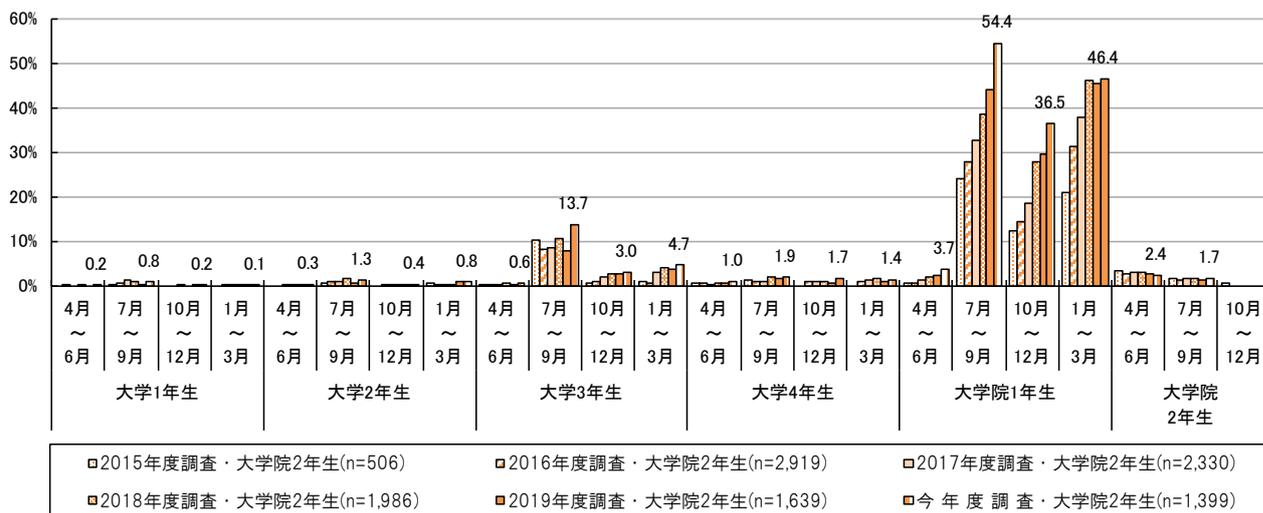
インターンシップ参加の時期について⁵²、大学3年生・大学院1年生の「7～9月」や「1月～3月」の参加割合が約5～6割で高く、大学3年生・大学院1年生の「10月～12月」の割合が約4割となっている。

過年度調査と比較すると⁵³、上記のそれぞれの時期において、インターンシップに参加したと回答した割合が高まっている。「1～3月」については、2018年度調査・2019年度調査と同程度の回答割合となっている。

図表 3-9-2 インターンシップ参加時期（複数回答）
（大学4年生）



（大学院2年生）



⁵² ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

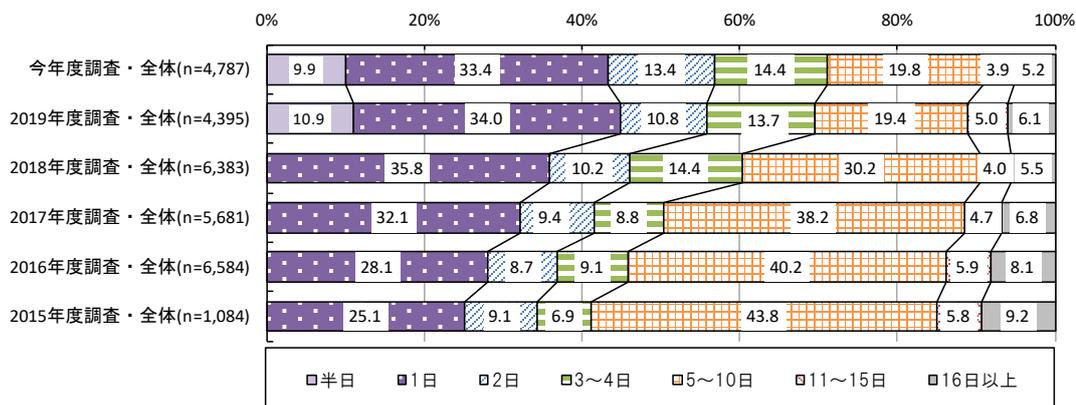
⁵³ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

③参加日数

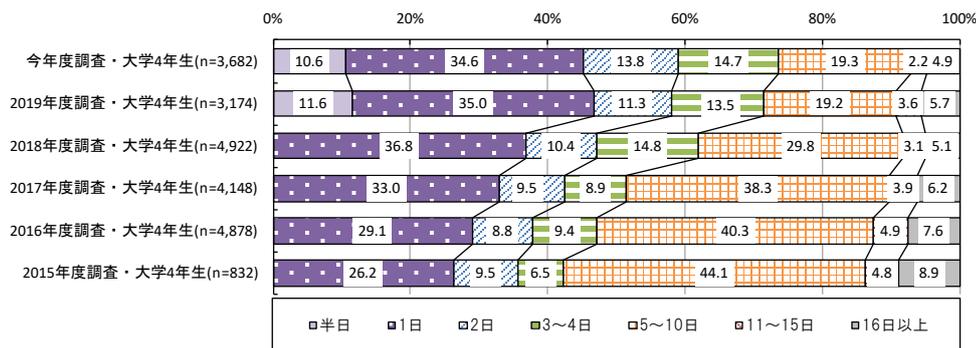
参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「半日」の回答は約1割であった⁵⁴。

過年度調査と比較すると⁵⁵、今年度調査では2019年度調査とほぼ同様の結果となっている。

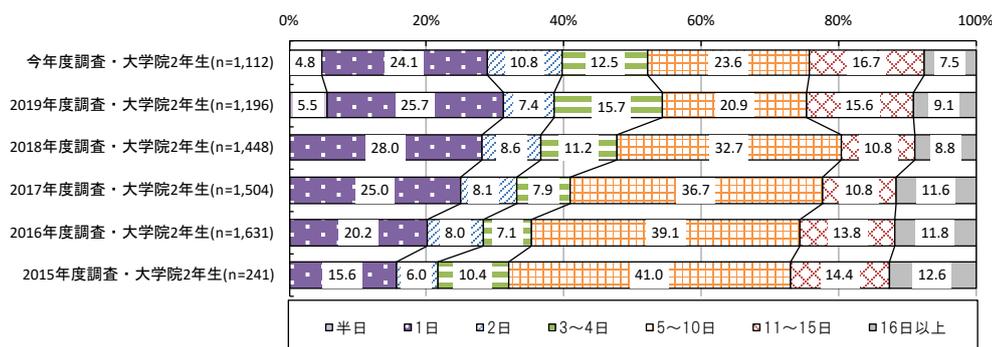
図表 3-9-3 インターンシップ参加日数
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁵⁴ 過年度調査では参加したインターンシップの最長の日数を1日単位の数字で回答されたものを分類して集計を行っていたが、今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の分類を選択してもらい、その上で最長の日数に関して集計をした。「半日」の分類は今年度調査についてのみ把握・集計を行うことができるものとなっている。

⁵⁵ 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

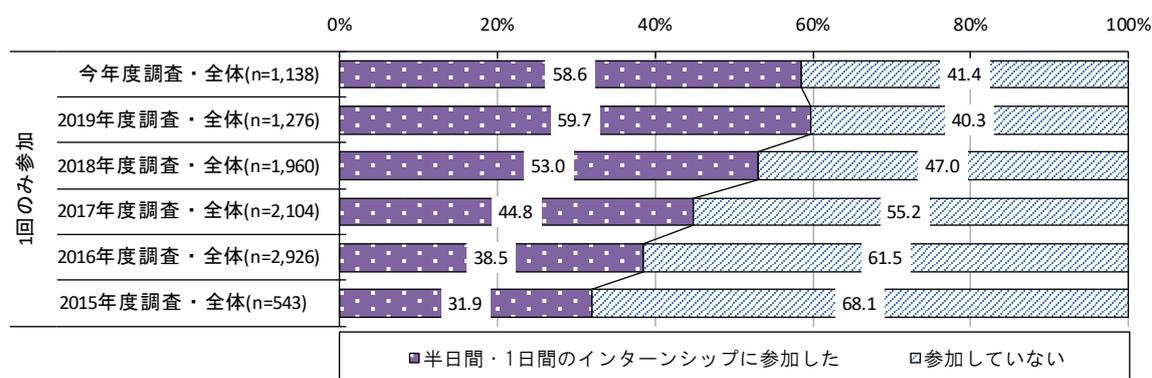
④半日間・1日間のインターンシップ参加状況

インターンシップに1回のみ参加したことがある者、複数回参加したことがある者のそれぞれについて、半日間又は1日間のインターンシップの参加状況⁵⁶を集計すると、インターンシップに1回のみ参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加した割合は約6割であった。また、インターンシップに複数回参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある割合は9割以上となっている。

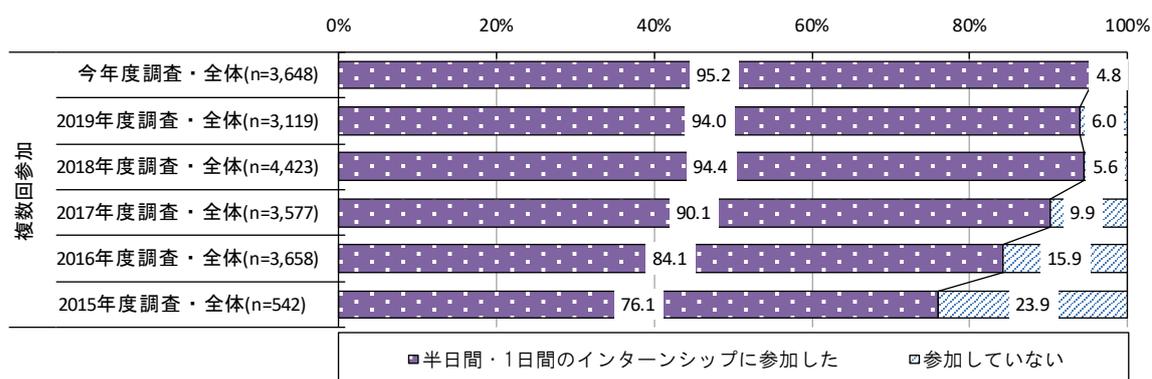
インターンシップに1回のみ参加したことがある場合で、それが半日間又は1日間であった者の割合は、2015年度調査以降高くなる傾向となっていたが、今年度調査では2019年度調査と比べて同程度となっている。

なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合を集計すると、全体の約8割が半日間又は1日間のインターンシップであった。過年度調査に比べ、この割合は若干高くなっている⁵⁷。

図表 3-9-4 インターンシップ参加経験者の半日間・1日間のインターンシップ参加の状況
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



⁵⁶ 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には「半日」または「1日」のインターンシップに参加したと回答したか否かという点から、参加の有無について判断をした。なお、2018年度調査以前に関して複数回参加したことがある場合には、「最短の日数」に関する回答について集計し、1日間のインターンシップの参加の有無について判断をした。

⁵⁷ 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。